

# 北中山小学校 わたしたち「ミニ語り部」！ 北中山お宝大図鑑作成プロジェクト



「北中山を多くの人に知ってもらいたい！」という児童の発意で、地域の語り部の会と連携した取組

① 語り部さんによる歴史・伝承の学習！

- ・学校にて、詳しく学習
- ・町たんけんて全地区制覇！

② 地区文化祭で地域に発信！

- ・宝の地図として魅力&クイズで発信！
- ・誰でも場所が分かるようGoogleマイマップでも発信！
- ・ご当地キャラクターを作成&お披露目！

③ お宝大図鑑作成！

- ・学習したことのまとめ！
- ・鯖江市文化の館にも置いていただき、広く地域の方に伝える！

④ ふるさと学習発表会！（写真は練習）

- ・語り部さん、地域の方、保護者、校内児童に向け、発信！
- ・劇やクイズでみんなに伝承！

(様式1)

令和7年度「ふるさとの学び特別賞」応募票

学校名 鯖江市北中山小学校

1. テーマとアピールポイント

テーマ

わたしたち「ミニ語り部」！ 北中山お宝大図鑑作成プロジェクト

アピールポイント

地域の課題解決、そして「多くの人に知ってもらいたい！」という児童の発意で「お宝大図鑑」の作成に着手。地元語り部会のみなさんと密に連携した学習や、特産品を基にした児童のオリジナルキャラ「キータくん」も活用して、市全体や他校へ北中山の魅力を発信・提案した。

2. 活動内容

(1) 対象学年、児童生徒数

3年生 18名

(2) 取組内容

【概要】

北中山地区は高いシビックプライドを持つ地区として知られている一方、入学者の少なさや地域活動の変化を通じて、少子高齢化・人口減少という地域の持続可能性に関わる課題を実感している。

この課題意識と、2年生までの町探検や上級生からの学びで培った「ふるさと大好き」という思いが、「もっと北中山について詳しくなりたい」というワクワク感として表れ、今年度のプロジェクトの明確な発意となった。児童たちは、自分たちが地域の魅力を発掘・発信することで、ふるさとを盛り上げたいという強い思いで活動を開始した。

地区には歴史・伝承を伝える「北中山語り部の会」があり、児童は地域の人々との連携を重視した。語り部の会との協力により、学校での学習（2回）と特別な実地研修（2回）を実施した。これにより、児童は全7つの町内全ての歴史や文化について深く学ぶことができた。特に実地では、地域の方々の特別な協力を得て、国の重要文化財や市の文化財などに直に触れるという貴重な体験活動を実施した。

児童は、「自分たちが学んだことを、小学生でも分かりやすいようにまとめて、たくさんの人に北中山に詳しくなってほしい」との発意に基づき、主要な成果物として「北中山お宝大図鑑」の作成を企画した。この図鑑作成のため、鯖江市子ども予算を活用し、業者による製本を行う予定である。

【今年度の新しい取り組み・視点】

① 図鑑をはじめとする多様な情報発信

地域全体への情報共有：図鑑を学校図書館に加え、「鯖江市文化の館」に5部寄贈し、鯖江市全体の人々への魅力発信につなげる予定。

県内への発信：「たくさんの人に、北中山の存在を知ってほしい」という目標の下、NIEの一環として、福井新聞キッズこだまに毎月投稿し、継続して県内へ発信。

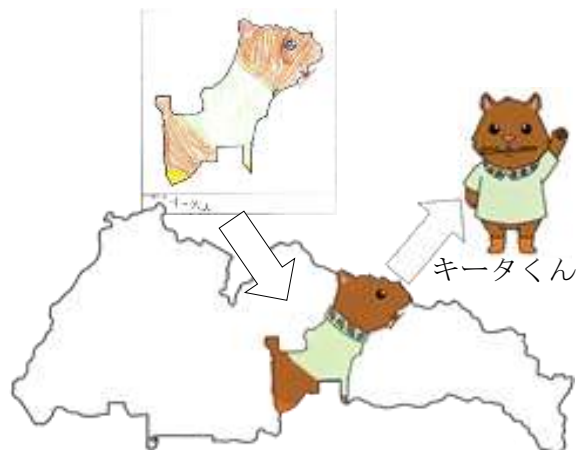
地域行事での発表：地域の公民館にお願いし、地区文化祭において「北中山宝の地図」（魅力やクイズ入り）を掲示し、地域住民への情報提供と参画を促進。

## ② 情報の可視化

「実際に訪れて、現地で魅力を知ってほしい」との提案に基づき、地域の公民館に協力を依頼し、地区文化祭で「北中山宝の地図」を掲示した。さらに、ツールとしてGoogleマイマップも活用し、QRコードを読み込んでもらうことで、訪問先を分かりやすく案内する工夫を導入。

## ③ ご当地キャラクターの創造

社会科や道徳科（ふっかちゃんの町じまん）の学習を契機に、児童は「魅力的なご当地キャラクターが町おこしにつながる」と考え、特産品（川島ごぼう）、あじさいロード、地区の形（犬）を組み合わせたオリジナルキャラクター「キータくん」を作成した。さらに、生成AIを活用して様々なポーズの画像を生成し、図鑑やパンフレットでPRの先頭に立たせた。



## ④ 地域を巻き込んだ発表と提案

12月のふるさと学習発表会では、校内児童だけでなく、語り部の会、地域の方々、保護者の方々を招待し、今年度のプロジェクトに基づく児童発案の劇『不思議なお宝大図鑑』を中心に学習成果を発表し、地域との連携・共創を深める予定である。

また、年明けの東部3小学校 小・小連携事業の総合的な学習の時間相互発表会にて、片上小、河和田小の3年生に対し、北中山地区の魅力発信を積極的に行う予定である。これは、同世代の児童にふるさと学習の楽しさを伝え、広域的に鯖江市の魅力と課題を共有するという重要な働きかけとなるだろう。

## 3. 年間活動実績（12月以降の予定を含む）

4月	課題の設定 計画立案
4月～	福井新聞キッズこだま投稿
6月 3日	語り部さんと地域の歴史・伝承・課題等の学習①（川島町・松成町・落井町）
6月16日	語り部さんとの実地学習①（川島町・松成町・落井町）
7月	「地区の祭り」「あじさい」「語り部さん」の学校じまんについて福井新聞掲載
6月～	地区の宝の地図・お宝図鑑作成①
9月～	オリジナルキャラクター作り
10月11日	語り部さんと地域の歴史・伝承・課題等の学習②（磯部町・上戸口町・中戸口町・戸口町）
10月23日	語り部さんとの実地学習②（磯部町・上戸口町・中戸口町・戸口町）
10月～	地区の宝の地図・お宝図鑑作成②
11月 2日	地区文化祭にて宝の地図披露
12月 8日	ふるさと学習発表会
1月～	児童が作成した「北中山お宝大図鑑」を鯖江市文化の館（図書館）に寄贈
1月18日	東部3小学校 小・小連携事業 総合的な学習の時間相互発表会